



東北ハイテク研セミナー

福島県でのサツマイモの可能性を探る

—阿武隈地域の葉タバコ栽培跡地での実証栽培—

「本セミナーは、農林水産省が実施する「知」の集積による産学連携支援事業により行われます。」

I 趣 旨

福島県の阿武隈地域の田村市は葉タバコ栽培が盛んであったが、タバコの消費量の減少に伴って、栽培面積は激減し、その多くが耕作放棄地になっている。葉タバコに替わる品目としてピーマン、トマトなどの野菜の栽培が行われているが、さらに品目を増やし、耕作放棄地を減らし、農業の再興を図っていく必要がある。

一方、サツマイモはこれまで関東以南で広く栽培されてきたが、最近では気候温暖化もあって、徐々に栽培が北上し、現在では北海道産のサツマイモも生まれ始めているなど、福島県における産地形成も十分可能である。

このため、田村市における農業の現状とサツマイモ導入の可能性、サツマイモの作物的価値、現在サツマイモの栽培に取り組んでいる生産組織における栽培実態などについて情報を共有し、栽培上の問題点や新しい用途など今後の生産振興に向けた意見交換を行う。

II 日 時 : 令和2年2月27日(木) 13時00分～15時15分

III 場 所 : 文化の館ときわ(福島県田村市常葉町常葉字町裏1、Tel: 0247-77-2211)

IV 主 催 : 農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室
東北地域農林水産・食品ハイテク研究会
特定非営利活動法人うつくしま・ふくしま農産物普及推進協議会
後 援 : 田村市

V 内 容

1. 挨拶 (13:00-13:15)

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会事務局長	門間 敏幸
特定非営利活動法人うつくしま・ふくしま農産物普及推進協議会理事長	武田 博志
田村市市長	本田 仁一

2. 講演 (13:15-14:40)

司 会 東北地域農林水産・食品ハイテク研究会	小巻 克巳
1) サツマイモの作物的価値と商品性 (13:15-13:55)	
東北地域農林水産・食品ハイテク研究会	小巻 克巳
2) サツマイモプロジェクトの実情と問題点 (13:55-14:20)	
特定非営利活動法人うつくしま・ふくしま農産物普及推進協議会事務局長	松村 正彦
3) サツマイモ栽培試験に参加して (14:20-14:40)	
特定非営利活動法人チームふくしま 応援団	佐久間 辰一

3. 意見交換 (14:40-15:15)

VI 参集範囲 : サツマイモの生産・流通・利用に関係する者、行政・研究・普及関係者など
参加費は無料です

VII 参加申し込み先 : 東北地域農林水産・食品ハイテク研究会(事務局:藤井)

TEL: 080-2806-9926 FAX: 019-641-7794

E-mail: tohoku-hightech@kej.biglobe.ne.jp